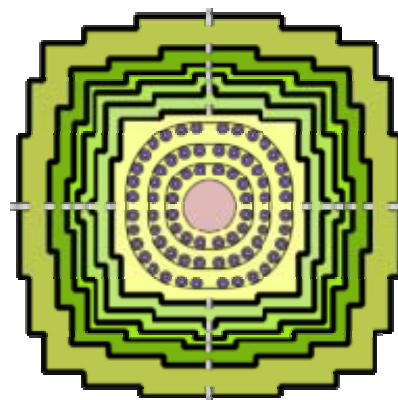
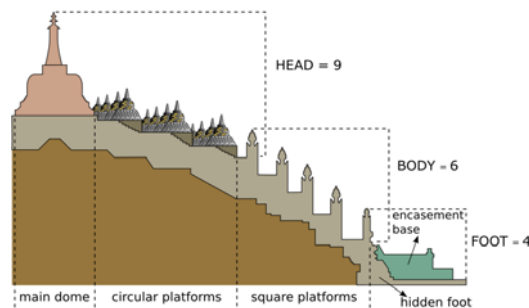


ジャワにおける仏教物語の進化 (ver 1.2, 2010-01-28)

1. 7世紀以降の東南アジア

- ◆ 部派仏教（上座部・有部）・大乘（密教）併存の時代
- ◆ 「あるいは大乘をとき、小乗をとき、あるいは実教をひろめ、権教をひろむ」（黒谷上人語灯録）
- ◆ 『南海寄帰内法伝』（義浄、7世紀）
- ◆ ボロボドゥール寺院（中部ジャワ、9世紀）
- ◆ 部派仏教（上座部）レベル：浮き彫り
 - 仏伝、ジャータカ（サンスクリット）
 - 『ジャータカ・マラー』
 - 「スタゾーマ・ジャータカ」
- ◆ 大乘レベル：浮き彫り
 - 『華嚴経入法界品』（善財童子の巡礼）
- ◆ 密教レベル：仏像
 - 五仏思想
 - 『金剛頂経』
 - 第1層～第4層ニッチ
 - ◇ 東側…阿閼如来（触地印）
 - ◇ 南側…宝生如来（与願印）
 - ◇ 西側…阿弥陀如来（禅定印）
 - ◇ 北側…不空成就如来（施无畏印）
 - 第5層四面ニッチ
 - ◇ 毘盧遮那仏=大日如来 Mahāvairocana（法身説法印）
 - 円壇小ストゥーパ
 - ◇ 釈迦如来（転法輪印）



2. 14世紀以降のジャワとバリ

- ◆ 『スタゾーマ・カカウイン』
 - 密教に統合された仏教とヒンドゥー教
 - ジャータカ（スタゾーマ・ジャータカ）
 - 菩薩の転生⇒大日如来の転生
 - スタゾーマという主人公
 - 人食いの調伏というテーマ
- ◆ 「仏伝」の骨格
 - 王子としての出生
 - 結婚・家族⇒結婚前に出家
 - 出家・修行・悟り（ブッダ）⇒出家・修行・悟り（大日如来）
 - 出家者として布教⇒即位、王として結婚・家族、敵への対処
- ◆ ヒンドゥーの英雄
 - 山中で苦行
 - 神から恩寵（武器）⇒大日であることの自覚
 - 悪鬼を倒す⇒悪鬼を調伏
- ◆ 不二元論：聖（僧）=俗（王）、仏陀の教え=シヴァの教え（Bhinneka Tunggal Ika）
- ◆ 物語としてはヒンドゥー教（シヴァ派）に対する優位を含意。
- ◆ 王（武力）⇒王=僧（非戦）

